

『AUTOMOBILE COUNCIL 2017』 イタリアで開催されているふたつのヘリテージカー・イベント 「AUTOMOTO D'EPOCA」「AUTOMOTORETRÒ」と 姉妹イベント提携

AUTOMOBILE COUNCIL 2017 実行委員会

イタリアでは、戦前戦後を問わず自動車を文化の対象と認め、その歴史や車両そのものを展示・紹介することで、連綿と築き上げてきた自動車文化を紹介するイベントが毎年各地で盛大に開催されています。

AUTOMOBILE COUNCIL 2017 実行委員会では、このたび、それらのイベントの中でも出展メーカー数や展示車両数などの開催規模、来場者数でイタリアはもとより世界から注目賞賛されている「AUTOMOTO D'EPOCA」（アウト・モト・デ・エポカ）と「AUTOMOTORETRÒ」（アウトモトレトロ）のふたつのヘリテージカー・イベントと姉妹イベント提携を締結しました。



AUTOMOTO D'EPOCA



AUTOMOTORETRÒ

本年8月4日から6日まで開催される「AUTOMOBILE COUNCIL 2017」では、このふたつのイベントの開催模様を紹介することで、ヨーロッパにおけるヘリテージカーの魅力、現代に受け継がれてきた自動車文化の素晴らしさを多くの皆さんに伝えます。あわせて、日本での自動車の歴史に敬意を払いヘリテージを愉しむ自動車文化を育む一助となることを期待しています。

■ AUTOMOTO D'EPOCA について

「AUTOMOTO D'EPOCA」（主催：Intermeeting Srl URL <https://autoemotodepoca.com/>）は、自動車コレクターを対象にクラシックカーの販売を目的とした催しとして、イタリア北部ベネト州のパドヴァで1983年に初めて開催されました。

回を重ねるごとに、次第に自身の作り出した自動車の歴史をヘリテージとして守ろうとするメーカーの共感を呼び、1990年に展示会のスタイルを取るようになりました。





現在では、国際レベルでの名声を高めています。中でもヘリテージカー部門では、同種のイベントではヨーロッパ最大の来場者数を誇り、参加車両・販売台数とも年々増加傾向にあります。

また開催地であるパドヴァ市との結びつきの強いイベントとして定着しています。イベント開催中は、中心街のショップがウィンドウをイベントのテーマに合わせて飾り付けたり、広場では自動車メーカー主催のオーナーズ・ミーティングが行われるなど、会場の内外でも大きな盛り上がりを見せています。

1983年当時の来場者数は1万人、1990年は2万人、2007年5万人、2015年は9万人を記録。同年の展示車は4500台、出展者はメーカーも含め1600、パビリオン数は11を数えています。2017年は、10月26日から29日まで、同市の見本市会場「PadovaFiere」にて開催されます。

■ AUTOMOTORETRÒ について



「AUTOMOTORETRÒ」(主催・運営:BEA S.r.l./GL events Italia S.p.A URL <http://www.automotoretro.it/>) は、クラシックカーのプライベート・コレクションのサポートと、文化としての自動車にスポットを当てることを目的に、1983年、イタリア北部のピエモンテ州の州都で、FIAT、Lanciaのお膝元のトリノでスタートしました。このイベントは、現在もその志が強く受け継がれていることが特徴となっています。2017年は、さる2月3日から5日まで開催され、展示車3000台以上、出展者はメーカーを含め1200社、6万5000人の来場者を迎えました。

ヨーロッパ自動車産業の中心地域でもあるトリノで開催されることもあってヘリテージカーの熱狂的支持者に愛されるイベントとして不動の存在となっています。2018年の開催は、2月1日から4日の予定です。